

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成 29 年度第 1 回 第 4 分科会（教育分野）
日時	平成 29 年 9 月 28 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 4 時 10 分
場所	防災センター 2 階 セミナー室（北）
出席者	市民委員 長尾 恵利世、橋本 禎枝、三輪 専治、伊藤 鶴吉、佐藤 美恵子、仙田 幸代
	市職員 稲田 剛、伊藤 勝治、茶原 健二、伊藤 健司
傍聴者	なし
議題	1. まちづくり会議について 2. まちづくり評価について 3. まちづくり評価の結果について 4. その他（第 2 回の会議日程について）
資料	資料 1 江南市まちづくり会議委員名簿（平成 29 年度） 資料 2 まちづくり評価について 資料 3 まちづくり評価【IV 教育分野】 資料 4 平成 29 年度江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査（江南市市民満足度調査）報告書

◆ 会議結果 ◆

- ・会議の開催にあたり、市長よりあいさつがありました。

1. まちづくり会議について

- ・まちづくり会議について、行政経営課主幹より説明がありました。

2. まちづくり評価について

- ・まちづくり評価について、資料 2 及び 4 に基づき、行政経営課行政経営グループリーダーより説明がありました。

3. まちづくり評価の結果について

〔柱 1〕 地域に開かれた快適で安全な学校づくり

- ・資料 3 に基づき、委員（教育課長・教育課統括幹兼管理指導主事）より説明がありました。

〔個別目標①〕 児童・生徒が心身共に健康な状態で、適切な教育を受けている

- ・学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合は、全児童・生徒に対して調査を行っているのかとの質問があり、市内 15 の小中学校の全児童・生徒を対象に調査を行っているとの説明がありました。
- ・江南市内で特別支援が必要な児童・生徒はどれくらいいるのか、特別支援学級等支援職員の配置はどのような状況かとの質問があり、特別支援学級の児童・生徒の人数は、小学校で 192 名、中学校では 90 名在籍している。特別支援学級等支援職員は今年度の児童・生徒の実態を踏まえて、全ての小学校に配置し、中学校については古知野中学校と布袋中学校に配置しているとの説明がありました。
- ・「目標達成のための今後の展開方針」にある補助教員とはどのような教員でどのような配置になっているのかとの質問があり、特別支援学級等支援職員と同様 19 名配置しており、少人数での授業やチームティ

ーチングを行っており、どの小中学校にも1人以上配置しているとの説明がありました。

〔個別目標②〕 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている

- ・地域の人にあいさつする児童・生徒の割合について、あいさつをする児童・生徒の割合は高くなっているが、児童・生徒から進んであいさつをしていないのではないかとの質問があり、児童・生徒の自己申告によるアンケート調査によって得られた結果であるとの説明がありました。そのことから、児童・生徒側からだけではなく、一般の市民の側から見た調査もしてみる必要があるのではないかとの意見がありました。
- ・不審者などの社会問題から、知らない人には声をかけないという教育をされているため、児童・生徒からあいさつをするということが少なくなっているのではないかとの意見がありました。
- ・学校・地域・保護者の間において、コミュニケーションをしっかりとっていく必要があるとの意見がありました。
- ・非行防止という観点から、大人の方から声掛けすることで効果があるのではないかとの意見がありました。
- ・職場体験学習について、体験場所が市外になることはあるのかとの質問があり、職場体験を行う場所は市外もあるが、自転車で行ける範囲が望ましいとの説明がありました。

〔柱2〕 将来にわたって活躍できる人づくり

- ・資料3に基づき、委員（教育課長・教育課統括幹兼管理指導主事）より説明がありました。

〔個別目標②〕 子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子供たちが育っている

- ・不登校の児童・生徒の割合について、目標値に対して実績値が悪くなっているのではどのような対応を考えているのかとの質問があり、目標値については計画を策定した当初、不登校の児童・生徒数を減少させていきたいという考えから設定したものである。不登校の対策としては、学校における校長会の中での対策研究会にて、個々の事例を研究し情報交換を行い、不登校防止のための啓発活動をしている。また、今年度は古知野南小学校を拠点としてスクールソーシャルワーカーを配置し、学校と他の関係機関との連携を図っているとの説明がありました。
- ・スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの違いについて質問があり、スクールカウンセラーは県から派遣されており、主に家庭との連絡を行っている。スクールソーシャルワーカーはその状況を踏まえた上で必要な関係機関との連絡・調整を行っているとの説明がありました。
- ・保護者の中には江南市にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが配置されていることを知らない人もいるので、そうした人のための周知が必要であるとの意見がありました。
- ・いじめと不登校の関係について、不登校の原因として、いじめとそれ以外の理由の割合はどれくらいかとの質問があり、割合的には同じくらいであるとの説明がありました。
- ・学校側で不登校の原因を把握しているのかとの質問があり、学校では一人一人の状態を把握しているとの説明がありました。

〔柱3〕 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり

- ・資料3に基づき、委員（生涯学習課長、生涯学習課統括幹兼体育施設長）より説明がありました。

〔個別目標②〕 市民が身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる

- ・新体育館について、文化的行事で利用することはできるかとの質問があり、現時点ではスポーツでの利用を考えているとの説明がありました。
- ・プールの建設について質問があり、過去に民間の施設との連携や新プールの建設について検討したが、他の施設利用者とのバランスや、施設の維持管理費など費用的な面から断念しており、当面建設の予定

はないとの説明がありました。

・〔柱4〕豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実

- ・資料3に基づき、委員（生涯学習課長、生涯学習課統括幹兼体育施設長）より説明がありました。
- ・質問はありませんでした。

4. その他（第2回の会議日程について）

- ・議事がすべて終了したため、第2回の会議は開催しない旨事務局より説明がありました。